

平成 30 年度第 5 回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2018 年 12 月 19 日（水）

時間：18 時 30 分～21 時

会場：品川区総合体育館

出席者：河原茂光（副会長）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊（副理事長）、宮澤哲郎（事務局）、釋洋一（監事）、成田健一、栗原崇、西澤英一郎、白井伸一（以上常任理事）、竹内佑太（学連委員長）、矢作直也、樋脇彩夏（以上学連副委員長）、出口晴（競技委員長）、那須亮太（広報委員長）、祖山彩夏（財務委員長）、吉川菜緒（書記）、寺木愛里彩、今村光成（以上学連委員）、林直樹（副学連委員）

古屋会長、一川副会長が欠席のため、河原副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 関東学生ホッケーリーグ登録規定について

- ・竹内学連委員長より関東学生ホッケーリーグ登録規定について説明があり、社会人 TO 制度（各チームから 1 名登録）について、来年度春季リーグからは登録を必須としない旨の提案があり、審議を行った。
- ・公認資格を有している TO がリーグ戦の運営にあたっている現状を踏まえ、社会人 TO 登録を必須としないことが承認された。
- ・なお、公認資格を有している TO 増員は必要であり、その対応については競技委員会で今後議論を進めることとした。

【報告/連絡事項】

2. 2019 年度関東学生ホッケー連盟委員長・副委員長について

- ・竹内学連委員長より、2019 年度関東学生ホッケー連盟委員長・副委員長についての報告があった。

3. インカレ（平成 30 年度男子 67 回・女子 40 回全日本学生ホッケー選手権大会実施）～来年度に向けての反省事項・課題等について

- ・矢作学連副委員長より、インカレにおける駒沢グラウンド運営結果について報告があった。

反省事項として、駒沢での初日対応人数が不足していたとの報告があった。各大学に協力を依頼するも、平日のため学業との関係等を理由に協力を得られず、参加チームに設営を一部手伝っていただくなどの状況となった。

来年は、大井 2 面+駒沢でのインカレ運営が想定され、3 か所に相応の人数を配置する必要がある。人数不足解消案として、「早めの協力依頼により必要人数を確保する」「現状は、活動している学連委員が一部の大学に限定されており、（人数不足解消には全ての大学の協力が必要であるため）学連会議の参加は必須とする」など対応策を協議した。また、インカレ前に実施される大井ホッケー場での

試合について、運営に慣れておく必要があるため、各大学が運営に参加するよう対応する必要があるとの意見があった。

その他、プリンター用紙不足、プリンター接続不良（有線での接続を前提とする）、バス利用者がルール順守してないなどの問題点を確認した。

・出口競技委員長から、競技委員会としてインカレ反省事項の報告があった。矢作副委員長の報告と重複するが「必要な人員の決定が遅くなり、各大学への協力依頼が遅れたため、人数不足を招いた」「動態表は早くから作成しておく必要がある」「備品チェックが不十分」「選評作成の誤りがあったが、適正な人員を配置できなかったことが原因であり、選評作成経験のある学連委員を配置する必要がある」等の説明があった。来年の開催に向け、マニュアル作成の必要性が確認された。

・樋脇表彰委員長より、表彰委員会としてインカレ反省事項の報告があった。表彰物の破損があり、対応については日学連の指示を仰ぐよう指示があった。また、表彰物を自宅保管としたが、来年は大井ホッケー場で保管する方向で検討する。表彰式については（3位・4位については）、来年の実施要項に詳細を明記すべきとの意見があった。

・那須広報委員長より、広報委員会としてインカレ反省事項の報告があった。

総括として、来年インカレは「大井2面+駒沢」となり、円滑な運営には各大学の協力が不可欠。現状の学連委員だけでは不足するので、より多くの学生に学連運営に携わってもらう必要がある。

今回の反省事項については、後任に引き継ぎをしっかりと行うこと。また、各委員の対応した事項については（次の世代が何をすれば良いかわかるように）、何をいつまでに行うかをマニュアル化しておくこと。以上を確認した。

4. 各委員会活動報告

・矢作副学連委員長より、平成30年度コンプライアンスセミナー年間事業報告があった。

・祖山学連委員長より、平成30年度予算執行状況についての報告があった。

①インカレの決算について

収入：資料の参加費が実績0となっているが、18日付で日学連から入金していただいた。キャリア美人様から協賛費を既に頂いているが、項目を広告協賛費にしてしまったため大会協賛費の項目に反映されていない。

②秋リーグの決算について

収入：グラウンド使用料は資料で10校未入金の状態だが、19日の状態で4校入金があり残り6校が未入金。プログラム売上金は、早稲田・慶應・明治・駿河台は受け取りが済んでいる。

支出：グラウンド使用料は、早稲田・駒沢・慶應・山梨・駿河台の請求書を頂いており支払済み。他は請求書をまだ受け取っていない状態。

2月の総会に向け、実績を確定させる必要があるため、早急に対応する旨の報告があった。

・寺木審判委員より、審判委員会運営状況報告があった。

5. 今後の日程

- ・引き継ぎ会議は1月9日（水）、第6回役員会は1月16日（水）、総会は2月23日（土）に開催されることが確認された。

6. 日学連理事会報告、UNIVAS（日本版 NCAA）他について

- ・久我理事長より、日学連理事会報告・UNIVAS（日本版 NCAA）についての説明があった。

7. その他

- ・ハイパフォーマンスクリニックについての Majestic plan より案内があった旨、説明があった。本件について、学連として対応するかの判断は、1月の学連会議で協議することとなった。なお、受講料などの内訳を明確にしておく必要があることを確認した。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長

河原茂光

関東学生ホッケー連盟理事長

久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長

竹内佑太